# 反対同盟ニュース

2022年3月20日　第100号


三里塚芝山連合空港反対同盟
（連絡先）成田市天神峰６３　市東孝雄方
Tel0476-35-0087 https://www.sanrizuka-doumei.jp/


## 空港機能強化白紙撤回・第３滑走路建設阻止!
## 農地強奪強制執行阻止! 成田の軍事使用許すな!

# 3・27芝山文化センターへ

空港周辺住民のみなさん。私たちは昨年2月の相川勝重前芝山町長による施設貸し出し拒否の処分以来、約1年にわたり審査請求をたたかってきました。芝山町は2月18日、処分を取り消すと裁決し、「結果を真摯（しんし）に受け止め、今後このような事案がないよう適切に事務の執行に努める」とコメントを出しました。（3面参照）

反対同盟の闘い（同盟ニュースは今号で100号です!）に注目し、支援してくださったみなさんのおかけです。どうもありがとうございました。

私たちはこの勝利の上に3月27日、空港機能強化白紙撤回・第3滑走路建設阻止を掲げた集会を芝山文化センターで開催します。ぜひご参加ください。

成田空港会社（NAA）は、B滑走路北延伸の工事を今年の秋に、第3滑走路の工事を来年度中に開始すると発表しています。

今年2月の訪日外客数はいまだ19年比で1%にも満たない状況です。コロナをきっかけにリモート会議の拡大などで航空需要が元に戻ることは二度とありません。

空港拡張の必要性がないばかりか、敷地2倍化のために広大な自然と農地を破壊することそのものが大量の温室効果ガスを発生させ気候危機をさらに進めます。運航を倍にすれば命に直結している問題である騒音・落下物の被害も倍となります。空港機能強化は白紙撤回しかありません。

ウクライナで戦争がはじまり、第3次世界大戦・核戦争の危機が迫っています。成田空港は有事の際の兵站拠点に位置付けられています。日米軍事演習を頻繁に行い、大軍拡・改憲を進める岸田政権のもとで成田の軍事利用、労働者の戦争動員が現実のものになろうとしています。機能強化は成田の軍事利用の可能性がより増えるものでもあり絶対に認められません。

市東さんの農地をめぐる攻防も正念場を迎えています。昨年6月の最高裁決定によって、NAAはいつでも市東さんの農地を奪える状況にあります。しかし、私たちの実力阻止の構えと地元や全国の闘う仲間の皆さんの「農地を奪うな」の声で、強制執行を阻み続けています。市東さんへの農地取り上げ攻撃は、空港機能強化策や戦争政策と一体のものです。市東さんへの強制執行を絶対に阻止しましょう。

私たちの未来のために「巨大空港建設の時代」を終わらせましょう。今こそ機能強化反対の声を共に上げましょう。

空港機能強化白紙撤回・第3滑走路建設阻止

## 3・27芝山現地闘争

**【日時・場所】**

**3月27日（日）午後1時開場　集会後、デモ行進**

**芝山文化センター　ホール**

# 今秋、Ｂ滑走路北延伸準備工事を許さない！

２月27日、天神峰カフェでＢ滑走路北側延伸工事予定地のフィールドワークを行いました。

Ｂ滑走路の北側に位置する「東雲（しののめ）の丘」ではＢ誘導路改修工事の現場がよく見えます。この日は日曜日だったので工事はお休みでしたが、平日の昼間には大騒音と粉じんをまき散らしながら重機でコンクリートを砕き、その砕いたコンクリートをダンプに積み込む様子がよく分かります（写真①）。

さらに北へと向かい、東関東自動車道（東関道）とＢ滑走路の侵入灯が交差する地点（写真②）を確認しました。Ｂ滑走路を延伸するためには東関道をトンネル化（430㍍）しなければなりません。高速道路の通行も、航空機の発着も維持したまま行うという危険な難工事となります。高低差もかなりあり、ＮＡＡが最初に着工するという切り回し道路（仮設道路）の工事だけで切土15万立方㍍、盛土６万立方㍍という巨大な工事なのです。

続いて、現在の「ミドルマーカー（電波誘導施設）」（写真③）に移動し、滑走路延長先端範囲を確認しました。さらにミドルマーカー移転予定地と敷地予定地内を調査しました。ミドルマーカー予定地は、深い谷津田を挟みます。貯水池にする予定の田んぼ道も通りました。Ｂ滑走路の延伸予定地内を確認（写真④）。北端部には、準備用と思われる杭（写真⑤）が打たれていました。

ここで参加者は、埋め立て予定の谷の深さと広さに驚きました。ＮＡＡの発表では用地造成工事で切土１２０万立法㍍、盛土で３３０万立法㍍。これほど大規模に地形や水系を破壊する工事なのかとみな怒りを新たにしました。その後、Ｂ滑走路をぐるっと一周して天神峰へと戻りました。

ＮＡＡは現在、未曾有の大赤字を出し、空港は破産の危機に立っています。航空需要は蒸発し、機能強化を進めるための大前提・根拠が完全に崩れる中で、この巨大工事計画を進めることは到底許されません。ともに知恵を絞り、空港機能強化の白紙撤回を勝ちとるまで粘り強く闘っていきましょう。

写真①

写真②

写真③

写真④

写真⑤

# 正当な理由なき施設貸し出し拒否は違法
# 芝山町が使用申請却下処分を取り消し！

## 空港反対派の施設使用却下
## 芝山町、処分取り消し

三里塚芝山連合空港反対同盟北原派が芝山文化センターの使用却下処分を不服として、芝山町に処分の取り消しを求めた審査請求について、同町は25日、処分を取り消すと発表した。

同町は施設の使用却下処分について、「条例の規定を拡大的に解釈したものであると言わざるを得ず、地方自治法に違反する処分である」として、処分を取り消し、使用申請を承認するように18日付で裁決した。

同派によると、成田空港の機能強化に反対する集会の会場として、芝山文化センターの使用承認申請を昨年2月に提出。同町は「センターの管理運営に不安が生じる」として、使用却下処分とした。同派は「芝山町で集会を開催できないことは集会・結社の自由などに反して違憲だ」などとして、処分取り消しを求めて昨年3月に審査請求した。

町の審理員は昨年12月、「条例の規定を拡大解釈したもので地方自治法に違反する処分であり、取り消されるべきだ」とする意見書を提出。これを受け、同町は町議会に諮問し、裁決した。同町は「裁決結果を真摯に受け止め、今後このような事案がないよう、適切に事務の執行に努める」としている。（青山祥子）

（朝日新聞2・26）

# 空港機能強化の白紙撤回は必ずできる！



2022年３月20日　反対同盟ニュース　第100号

# 地域住民の声

今回は２本の滑走路から飛び立つ航空機が地域上空で旋回し、騒音被害が大きい茨城県稲敷市の住民から。話しを聞こうとしないＮＡＡへの怒りの声です。

## ◆知らぬ間に航空機が上空を旋回するように。ＮＡＡは住民の声を聞け。

**稲敷市　会社員**

自分が区長の時、騒音対策をやるように訴えて騒対協をつくったけど、行政がまったく関心がないからなかなか住民の声が伝わらない。

昨年の7月からようやく夜11時以降の稲敷市柴崎上空での右旋回がなくなった。

これも最初の頃は直進していると国交省は環境省に書類を出していた。それが知らないうちに利根川を越えれば旋回してもいいということになってしまった。行政がしっかりしていればこういうことにならなかったと思う。

今回の空港機能強化で柴崎も「隣接地域」になり、ようやく空港会社も話しを聞いてくれるようになったけど、空港会社の奥田相談センター室長は、茨城よりも千葉を大事にするのは当たり前と平気で言っている。

だけど、成田の長沼地区よりこっちの方がうるさいよ。人によっては内窓がつくようになってよかったと言っている人はいるけど、音は天上からくる。直下はなおさらだ。

騒音を防ぐには第一種なみの対策が必要で、そうしなければ将来地獄だよ。本当に空港が必要だというなら住民の声を聞くべきだ。

# 4・10天神峰カフェにご参加を

4月10日（日）正午、成田市天神峰の市東さん宅離れで天神峰カフェを開きます。天気が良ければ中庭でオープンカフェ。採れたての野菜の手料理を囲み、一緒に午後のひとときを過ごしませんか？　前回はカフェ（写真右）後にB滑走路北側の工事予定地域のフィールドワーク（現地調査）を行いました（**2・3面参照**）。ご連絡は**太郎良（たろうら）陽一 090(1855)8189**まで。